

- 問1 アジア東部に位置し、アメリカ合衆国やブラジルとともに世界有数の広大な国土を持つ国はどこか。この国は2012年時点で世界第4位の面積を有している。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. オーストラリア 2. インド 3. ロシア連邦 4. 中国
-
- 問2 タイやベトナムなどの東南アジアの国々が加盟し、地域の経済成長や社会・文化の発展、ならびに地域の平和と安定を目的として活動している地域協力機構の名称を選びなさい。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. AU (アフリカ連合) 2. OPEC (石油輸出国機構) 3. NAFTA (北米自由貿易協定) 4. ASEAN (東南アジア諸国連合)
-
- 問3 サウジアラビアでは、2000年の時点で約500万人であった外国人人口が、2020年には約1300万人を超える規模まで急増しています。この背景にある要因と、流入した人々の特徴の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 生活環境の改善や医療技術の向上により、出生率が上昇し自然増加が加速したため 2. イスラム教の聖地巡礼が盛んになり、観光を目的とした短期滞在者が定住化したため 3. 経済発展に伴う労働力不足を補うために、南アジアなどから出かせぎ労働者が流入したため 4. 周辺諸国での紛争を逃れるため、安全な隣国を求めて大量の難民が流入したため
-
- 問4 1945年に独立を宣言した後、長年の戦乱を経て1976年に南北の統一を果たした東南アジアの国について、その経済的な変遷を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. モノカルチャー経済からの脱却を目指し、天然ゴムやスズの輸出に特化した開発政策を継続した。 2. 社会主義体制を堅持し、国営企業のみによる経済運営を続けることで自国資本の流出を防いだ。 3. ASEAN (東南アジア諸国連合) への加盟を拒否し、欧州諸国との貿易額を急増させる独自の経済圏を構築した 4. ドイモイ (刷新) と呼ばれる政策により市場経済を導入し、外資企業の受け入れや輸出を拡大させた。
-
- 問5 2000年代初頭のベトナムにおいて、輸出額で上位に位置していた「魚介類」の生産や輸出の背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 内陸部の冷涼な気候を利用して、サケやマスなどの淡水魚を大規模に養殖し、ヨーロッパへ輸出している。 2. 重工業化政策の推進により、鉄鋼や機械類の輸出が急増したため、水産物の輸出割合は極めて低くなった。 3. メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。 4. 伝統的な沿岸漁業が中心であり、冷凍技術や加工技術が未発達なため、生魚の状態での輸出に限定されている。
-
- 問6 アメリカ、中国、オーストラリア、イギリス、タイの5か国の産業的特徴を比較した際、タイに該当する記述として適切なものはどれか選んでください。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 東南アジアに位置し、外国企業の資本や技術によって開発され、輸出農産物の輸出中心から工業製品の輸出中心へと経済構造が変化した。 2. 世界最大の人口を抱え、「世界の工場」として急速な経済発展を遂げ、各地の経済特区を中心に工業製品を世界中に輸出している。 3. 広大な農地を利用した企業的大規模農業が行われ、農産物の輸出額が世界でも最大級であるとともに、先端技術産業も発達している。 4. 羊毛の生産や、鉄鉱石・石炭などの鉱産資源の採掘が盛んであり、それらの輸出が国の経済において大きな割合を占めている。
-
- 問7 東南アジアなどの熱帯地域で見られる大規模な農園「プランテーション」の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. かつての植民地時代に欧米諸国の資本や技術によって開発され、輸出を目的として天然ゴムや油やしなどの特定の作物を大規模に栽培している。 2. 大規模な機械を導入して、広大な土地で小麦やとうもろこしなどの穀物栽培と家畜の飼育を組み合わせ、効率的な生産を行っている。 3. 夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹栽培と、冬の降雨を利用した小麦栽培を組み合わせることで、気候に適応した生産を行っている。 4. 都市への出荷に便利な地域において、ビニールハウスなどの施設を利用することで、野菜や花を一年中計画的に栽培している。
-
- 問8 西アジアにおける近年の生活や産業の様子について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 石油によって得た資金をもとに、砂漠の中に近代的な都市が建設され、人々の生活水準が向上している。 2. 石油資源の採掘を制限しており、現在も伝統的な遊牧による生活が国民の大部分を占めている。 3. 豊かな水資源を求めて、人々は川の上に水上集落を作って生活しており、高層ビルの建設はほとんど見られない。 4. 季節風の影響で雨季と乾季がはっきりと分かれるため、雨季の降水を利用した稲作が砂漠地帯の各地で盛んに行われている。
-
- 問9 2014年時点の統計において、携帯電話の契約数が約45億件という突出した数値を示し、ヨーロッパ、北アメリカ、およびその他の地域の合計を上回る規模に達している地域として、正しいものを選択してください。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
1. アフリカ 2. ヨーロッパ 3. アジア 4. 北アメリカ
-
- 問10 1970年代後半から中国が実施した「改革・開放」政策において、シェンチェン (深セン) などの沿海部の都市に設けられた、外国の資本や技術を導入するための特別な地区の名称を次の中から選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 経済協力開発機構 2. 経済特区 3. アジアNIES 4. 特別行政区
-
- 問11 ドバイが石油資源に依存した経済構造から脱却するために進めている、都市開発や経済政策の背景として最も適切なものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 将来的な石油資源の枯渇を見据え、金融、物流、観光などの産業を多角化することで持続的な成長を目指している。 2. 外国企業の参入を厳しく制限し、伝統的な真珠養殖業を再び国の基幹産業として復活させる鎖国的な経済政策を採っている。 3. 国内の食料自給率を100%にするため、石油による利益のすべてを砂漠の完全緑化と農業用地の拡大のみに投入している。 4. 石油輸出の停止を決定し、その代替として太陽光発電による電力輸出のみで国家予算をすべて賄う計画を立てている。
-
- 問12 アジアの山地の斜面に沿って、小さな水田が何段も重なり合っている「棚田」の景観について、その仕組みや役割を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 傾斜地を平らな段にすることで土壌の流出を防ぎ、山の上から順に水を引くことで限られた土地と水を有効活用している。 2. 海岸沿いの浅瀬を堤防で囲んで排水し、塩分を除去することで、大規模な稲作が行える農地を確保している。 3. 大型の農業機械を効率よく導入するために、山地の広い範囲を平坦な農地に改良し、生産性を高めている。 4. 乾燥した地域において、地下水路から引いた水を蒸発させないように、山の斜面に沿って特別な栽培施設を設置している。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中国	アジア東部に位置するという地理的条件と、世界第4位という面積の順位から判断する。ロシア連邦はユーラシア大陸北部に位置し世界1位、インドは南アジアに位置し世界7位、オーストラリアはオセアニアに位置し世界6位である。
問2	答え 4 ASEAN（東南アジア諸国連合）	タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの5か国によって1967年に設立された組織です。その後、ベトナムやカンボジアなども加わり、現在は東南アジアのほぼ全ての国が加盟しています。域内の関税を撤廃するなど経済的な結びつきを強めることで、日本や中国、欧米諸国とも深く関わる重要な経済圏となっています。
問3	答え 3 経済発展に伴う労働力不足を補うために、南アジアなどから出かせぎ労働者が流入したため	サウジアラビアは石油資源を背景に急速な経済発展を遂げましたが、建設業やサービス業、家事労働などの分野で深刻な労働力不足に直面しました。これを補うために、インドやパキスタンといった南アジア、およびフィリピンなどの東南アジアから多くの「出かせぎ労働者」を受け入れたことが、近年の急激な人口増加の主な要因です。紛争による難民や、自然増加による変化とは性質が異なります。
問4	答え 4 ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策により市場経済を導入し、外資企業の受け入れや輸出を拡大させた。	ベトナムは1976年に南北統一を果たした後、1986年から「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる改革開放政策を導入しました。これにより従来の計画経済から市場経済へと転換し、外国資本（外資企業）の積極的な誘致を行うことで急速な経済成長を遂げ、ASEANの中でも顕著な発展を見せています。選択肢にあるような天然ゴムやスズの輸出に頼るモノカルチャー経済からの脱却は、東南アジア諸国全体に共通する課題ですが、この国は工業化によってその転換を成功させました。
問5	答え 3 メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。	ベトナムの輸出用水産物、特にエビの生産は、南部のメコン川デルタを中心とした地域で活発に行われました。2001年時点の統計で輸出第3位（12.0%）を占めるほど成長した背景には、マングローブ林を養殖池へ転換するなどの開発がありましたが、同時に環境破壊も課題となりました。対照的に、選択肢にある鉄鋼や機械類が輸出の主力となるのは、さらに後の工業化が進んだ時期のことです。
問6	答え 1 東南アジアに位置し、外国企業の進出によって工業化が進んだ結果、農産物の輸出中心から工業製品の輸出中心へと経済構造が変化しました。	タイはかつて米などの農産物輸出が中心の国でしたが、1980年代後半から外国企業の工場進出が加速し、現在では自動車やコンピューター部品などの工業製品が輸出額の多くを占めるようになっていきます。他の選択肢については、大規模農業や先端技術産業はアメリカ、経済特区と「世界の工場」は中国、羊毛や鉱産資源の輸出はオーストラリアの説明に該当します。
問7	答え 1 かつての植民地時代に欧米諸国の資本や技術によって開発され、輸出を目的として天然ゴムや油やしなどの特定の作物を大規模に栽培している。	プランテーションは、16世紀以降の植民地支配の中で、欧米諸国が熱帯地域の労働力を利用して特定の輸出用作物を生産するために作った大規模農園です。マレーシアの天然ゴムやインドネシアの油やし（パーム油の原料）などがその代表例であり、現在もこれらの国々の経済において重要な役割を果たしています。他の選択肢は、施設園芸農業、地中海式農業、混合農業の説明です。
問8	答え 1 石油によって得た資金をもとに、砂漠の中に近代的な都市が建設され、人々の生活水準が向上している。	西アジアの産油国では、乾燥した砂漠という厳しい自然条件を克服するために、石油の輸出利益を社会資本の整備に充ててきました。海水淡水化プラントの建設による生活用水の確保や、大規模なショッピングモールの建設などにより、都市部を中心に人々の生活は非常に豊かになっています。選択肢にある「雨季と乾季の交代」や「水上集落」は、主に東南アジアの熱帯モンスーン気候や熱帯雨林気候で見られる特徴であり、乾燥帯が広がる西アジアには当てはまりません。
問9	答え 3 アジア	アジア地域は世界最大の人口を抱えており、経済発展とともに通信インフラの整備が急速に進みました。2014年のデータでは、アジアの携帯電話契約数は他の主要地域をすべて合わせた数よりも多くなっており、世界最大の市場となっています。
問10	答え 2 経済特区	中国は1970年代末から「改革・開放」政策を推し進め、それまでの計画経済に市場経済の仕組みを導入しました。その中核となったのが「経済特区」です。これは輸出入に便利な沿海部の都市を指定し、外国企業に対して税制の優遇などの措置を行うことで、資本や高度な技術を呼び込むための制度です。これに対し、香港やマカオのように返還後も高度な自治が認められている地域は「特別行政区」と呼ばれ、混同されやすいため注意が必要です。
問11	答え 1 将来的な石油資源の枯渇を見据え、金融、物流、観光などの産業を多角化することで持続的な成長を目指している。	西アジアの産油国では、石油資源が有限であることや脱炭素社会への移行を考慮し、産業の多様化が急務となっています。ドバイは特にその動きが早く、中東のハブ空港としての機能強化や、外資を誘致するための経済自由区域（フリーゾーン）の設置、世界的な観光地の形成などにより、石油に頼らない経済基盤を確立しようとしています。
問12	答え 1 傾斜地を平らな段にすることで土壌の流出を防ぎ、山の上から順に水を引くことで限られた土地と水を有効活用している。	棚田は単なる農地としての役割だけでなく、急斜面において大雨による土砂崩れや土壌の浸食を防ぐという防災・環境保全の機能も持っています。一つひとつの田んぼがダムのような役割を果たし、水をゆっくりと下流へ流す仕組みになっています。大型機械の導入が困難なため維持には多大な労力を要しますが、アジアの農業において重要な伝統的景観です。